

有機溶剤代謝物の分析

従事する者はたこのクロマトで保
 環境に排泄されるものを紹介し
 うるは、TSK gel No. 33を用いた
 尿中の代謝物を完全に分離する
 取りかき代謝物の再現性がC.V.値
 を定めた。分析に標準物質の再
 溶剤が指し示す。Super-ODSを用
 有機酸の分離に標準物質の再
 ない3種類の分析に標準物質の再
 もさレマンに同時におよび4種
 と実施する。調整が容易に行
 にスチレン、馬尿酸、同様に
 正が尿に例は、TSK gel Super-ODS
 改メチルメチルメチルメチルメチル
 のリン酸緩衝液/アセトニトリル=85/15
 法シメチルメチルメチルメチルメチル
 生タキメチルメチルメチルメチルメチル
 衛ニキ、酸、ラ用で間分、値で0.1%以下
 全モ、酸、ラ用で間分、値で0.1%以下
 安的ン尿TRをこ短尿。またVれ連ムす。
 働学工馬TRをこ短尿。またVれ連ムす。
 の生理れロCに標準物質の再現性がC.V.値
 年の生れロCに標準物質の再現性がC.V.値
 元者特そ分-80Tに標準物質の再現性がC.V.値
 成業もで内逆D介分、ムわの間良のクロマト
 平作で内逆D介分、ムわの間良のクロマト
 る中体めO紹介、ムわの間良のクロマト

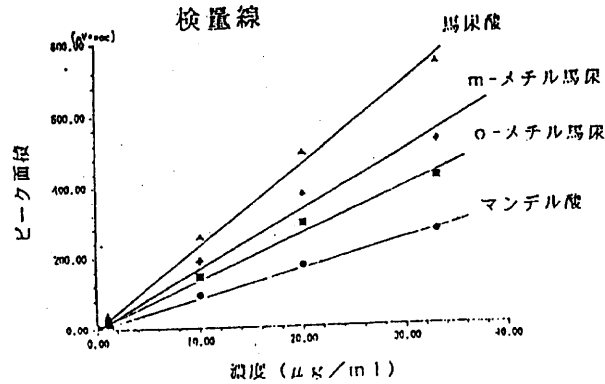
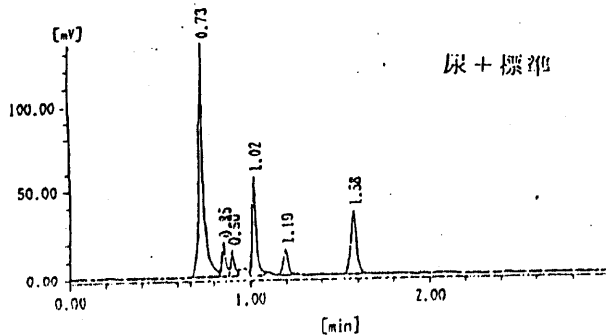
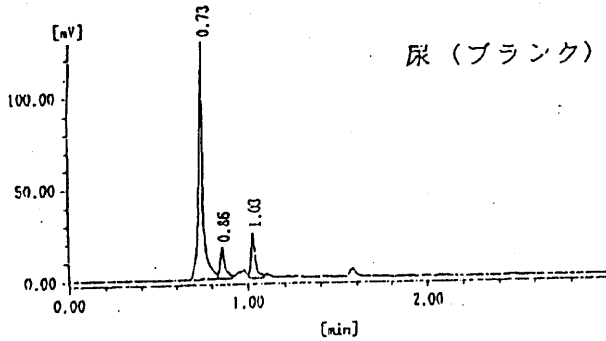
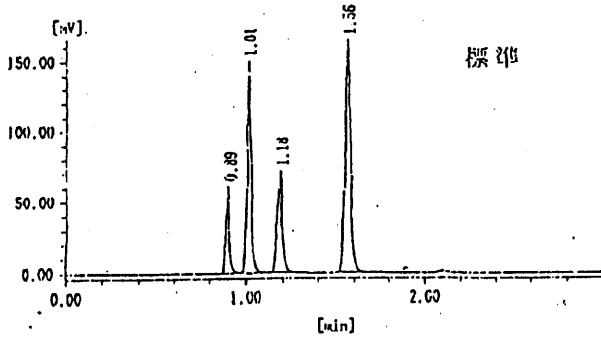


図. 1 標準、尿 (ブランク)、添加尿のクロマトグラム
 カラム: TSK gel Super-ODS (4.6mm I.D. × 10cm)
 溶離液: 50 mM リン酸緩衝液 / アセトニトリル = 85 / 15
 流速: 1.5 ml/min
 温度: 40℃
 検出: UV (215 nm)
 注入量: 10 μl

表. 1 測定再現性

ピーク名	保持時間	CV値	面積	CV値
マンデル酸 (MA)	0.901min	0.03%	33.32	1.13%
馬尿酸 (HA)	1.019min	0.02%	69.97	0.71%
o-メチル馬尿酸 (MHA)	1.193min	0.02%	45.07	1.13%
m-メチル馬尿酸 (MHA)	1.576min	0.03%	111.31	1.67%

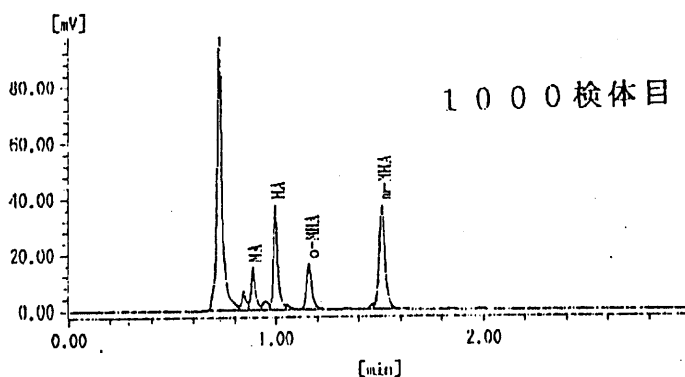
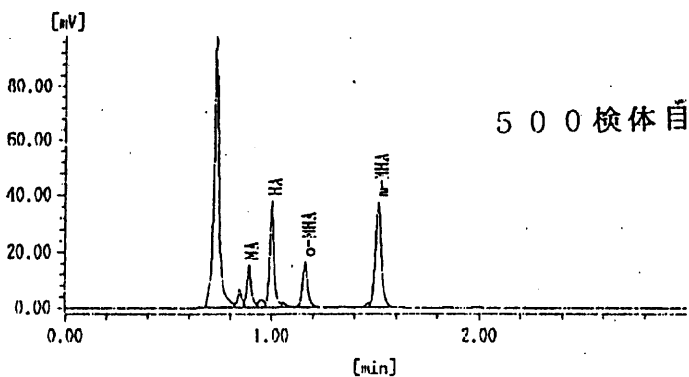
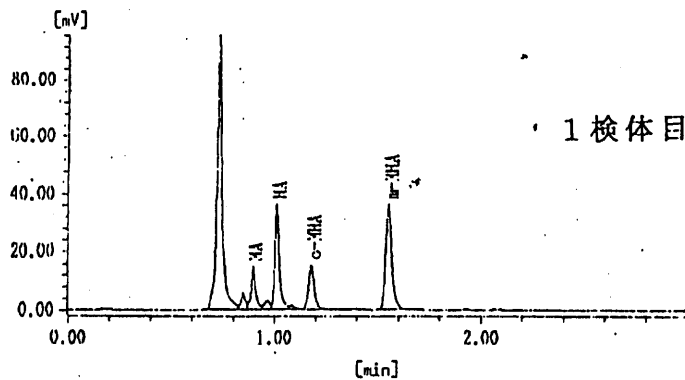


図. 2 連続測定時の1、500、1000検体目のクロマトグラム
 カラム: TSKgc1 Super-ODS (4.6mmI.D.×10cm)
 溶離液: 50mMリン酸緩衝液/アセトニトリル=85/15
 流速: 1.5ml/min
 温度: 40℃
 検出: UV(215nm)
 注入量: 3μl(添加尿)